

H I C 通信

Vol. 124

April 2024
Hiroshima
International
Center



ひろしま留学大使修了式

目次

P2 県内留学生が紹介「私の国と日本」

P3 ひろしま留学大使

P4 事業報告

交流部

広島県留生活活躍支援センター

P8 研修部トピックス

P9 留学生ボランティア派遣受入団体募集

文化施設等優待カード

P10 コラム

Hello Hiroshima

イベント・講座案内

Upcoming Event News

P11 JICALレポート

こちら JICA 中国

私の **玉** と日本

ベトナム編

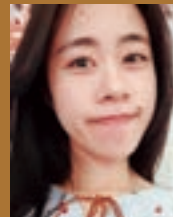
県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます!



留学生紹介

グエン トウ チャンさん

初めまして。ベトナム人留学生のチャンと申します。広島大学大学院人間社会科学研究科で勉強しています。私が日本に来た目的は、留学するだけでなく、日本の文化や生活を体験することです。日本に来て1年半ぐらいいになりました。そして、ベトナムに帰らずに日本で新年を迎えるのは今年で2度目です。今回は、ベトナムのお正月と日本との違いについて紹介したいと思います。



★ 時期の違い

最初の違いはお正月の時期です。日本人は新暦の1月1日にお正月を祝いますが、ベトナム人は中国や韓国と同じ旧暦で旧正月を祝います。ベトナムの旧正月はベトナム語で「テト」と呼びます。旧暦に従って祝われるため、ベトナムのテトは通常、新暦の1月下旬または2月上旬頃に行われています。ですから、テトの時はベトナムは春になり、天気も暖かくなります。



テトに飾られた通り

★ 十二支の違い

ベトナムにも日本と同じように十二支の動物がありますが、いくつかの動物は異なります。例えば、ベトナムの十二支には「ウサギ」の代わりに「ネコ」です。ウサギはベトナム人の生活にあまり馴染みのない動物ですが、ネコは稲を荒らすネズミを捕るため、ベトナム人の生活に近い動物と言われています。ベトナムの十二支の中には、ウサギのほかに、日本と違う動物が3頭います。日本の「ウシ」はベトナムの「スイギユウ」であり、日本の「ヒツジ」はベトナムの「ヤギ」であり、日本の「イノシシ」はベトナムの「ブタ」です。ベトナム人は、自国の文化に合わせ生活に近い動物を置き換えたかもしれないと思います。



壁に描かれたテトの絵

★ 春の花の違い

日本の春の花と言えば、もちろん桜ですね。しかし、ベトナムの春の花はピンク色の桃の花と黄色の梅の花です。ベトナムの北部ではピンク色の桃の花が人気であり、ベトナムの南部では黄色の梅の花が人気です。梅の花の黄色は幸運の象徴であり、桃の花は悪霊を追い払い、平和や幸福をもたらすと考えられています。また、たくさんの実がなる金柑の木はたくさんの子孫を象徴するため、ベトナム人は家に金柑の木を飾ることが多いです。テトになると、これらの木に飾り物をつけ、家に飾っています。



ベトナムの桃の花

★ 家族や親友へのお正月の祝いの違い

日本人はお正月に親戚やお世話になった人に年賀状を送っています。私は、日本人がこんなにたくさんの年賀状を郵便で送るのを初めて見たとき、とても驚きました。なぜなら、情報技術が発達した現在では、ベトナムでは手書きのカードが送られることは本当に珍しいです。ベトナム人は、電話やSNSのメッセージでお正月の祝いをよく送っています。



★ お年玉の習慣の違い

日本とベトナムにはお正月にお年玉を贈る習慣がありますが、日本では大人が子供にお年玉をあげるだけです。しかし、ベトナムでは子供だけでなく、お年寄りもお年玉をもらえます。子供がよく食べて早く成長するように、お年寄りが長生きするように、お年玉を贈ります。ベトナムでは、幸運を象徴するために赤い封筒にお金を入れることが多いです。



テトのお菓子とお年玉

★ お節料理の違い

ベトナムのテトのお節料理に欠かせないのは「バインチュン」です。バインチュンはもち米、豚肉や緑豆から作られ、先祖への感謝を示すものです。さらに、ベトナムのお節料理の中に、肉ハム、揚げ春巻き、肉のゼリー、小玉ねぎの漬物など、様々な料理があります。また、ベトナム人はテトに、家に訪問する来客をカラフルなお菓子でもてなします。私は現在、日本に住んでいるので、ベトナムのお節料理を十分に用意することができませんが、旧正月を迎えるために簡単な料理をできるだけ作りました。



自分で作ったお節料理

★ 最後に

さらに、大掃除や初詣など、ベトナムのテトの習慣は日本とかなり似ています。そして最近、広島県のベトナム人協会はテトを祝うために色々なイベントを開催しています。ですから、テトを祝うためにベトナムに戻れない時でも寂しさを感じなくなり、また日本のお正月の文化も体験することもできます。これらは私にとって、一生忘れられない体験や良い思い出です。



「2023 ひろしま留学大使」 の活動を報告します!

Hiroshima Study
Abroad Ambassador



修了証授与の様子

広島県内の大学等に通う留学生25名が「ひろしま留学大使」となって、2023年8月から約半年間、広島留学の魅力発信、地域課題の解決策の検討や地域支援につながるプロジェクトの企画・実践に取り組みました!

3月10日(日)には修了式を開催し、修了条件を満たした19名に修了証を授与しました。修了式後は、着物の着付けを体験し、縮景園を散策して、お互いの頑張りへのねぎらいや感謝を伝えました。

ひろしま留学大使の皆さん、コーディネーターの合同会社ひとむすびさん、日本人学生サポーターさん、お世話になった地域の団体の皆さま、ありがとうございました!



修了式(修了証と一緒に)

SNSでの情報発信

個人のSNSアカウントを利用して、月ごとのテーマに沿って、広島の魅力・学校生活や普段の暮らしなどを発信しました。

HIC Challenge Club

合同会社ひとむすびや日本人学生サポーターの協力を得て、月1回の研修を行いました。研修では4グループに分かれ、「外国人家族へのサポート」「地域のお祭りへの参加&貢献」「フードバンクの利用方法を多言語で発信」「湯来町の魅力アピール」をテーマに、課題の解決策を探るための協議や作業を重ねました。地域でのイベント開催や地域団体の紹介動画の作成など、地域の人と交流しながら、解決に繋がる行動を起こすことができました。

2月17日(土)には、成果をパワーポイントにまとめたものを発表する活動報告会を行いました。



Aグループ
たぶんかひろばpazuruでのイベント実施



Bグループ
御園宇地区の亥の子祭りに参加



Cグループ
フードバンク東広島島の紹介動画を作成



Dグループ
湯来町の魅力を体験



活動報告会の様子



活動報告会での集合写真

活動報告会の様子は
こちらをご覧ください



日本文化体験

茶道、着物の着付け体験など、
日本文化の魅力を体験することができました。



茶道



着物着付け体験

ひろしま留学大使にインタビュー



ベトナム出身
広島女学院大学



HOANG THI HANH NGUYENさん

ひろしま留学大使として他国の留学生と交流し、広島の伝統文化や習慣と一緒に体験することで、日本の文化に対する理解が深まりました。また、活動や体験を通じて、平和への理解が深まり、核兵器廃絶や平和に対する重要性を再確認しました。学生時代の貴重な思い出です。ここからさらに自分自身を成長させ、地域に貢献できるよう努力していきたいと思っています。



ベネズエラ出身
広島大学



Figueroa Alvaro Juan Antonioさん

広島での生活をより有意義なものにするため、積極的に社会に参加する事が良いと思い大使に応募しました。活動を通じて沢山の国の方々と意見交換し、色々な考えがある事を学ぶと同時に友好を深める事が出来ました。これからも色々な事に挑戦し、世界に対する視野を広げて、国際平和活動などを行いたいと思います。



中国出身
広島大学



李楠さん

異なる文化や風習を持つ国々に深い興味を抱き留学大使に応募しました。様々な国の友達との出会い、日本文化の体験など、新しい経験や文化に触れて留学生生活を豊かにしています。言葉の壁は時折厳しいものの、英語と日本語を同時に使うことでコミュニケーション能力も向上しました。今後は、中国と日本の友好関係に寄与するため、精力的に活動し努力していきたいと考えています。

交流部



Report 1 医療通訳ボランティア派遣事業について

ひろしま国際センターでは、日本語に習熟していない外国人住民等の皆さんが、安心して医療・保健サービスを受けられるよう、利用登録のある医療機関等に医療通訳ボランティアを派遣しています。

令和5年度の状況 (令和6年2月末時点)

項目	内容					
対応言語	英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語					
通訳内容 (ボランティアの活動範囲)	医療機関	受付、診察、検査、会計、病室、薬局など				
	保健機関	母子健康手帳の交付、3歳児健診時の問診・診察・保健指導など				
令和5年度 派遣実績件数	英語	中国語	ベトナム語	タガログ語	スペイン語	ポルトガル語
	54	23	5	21	19	6

医療通訳は、正確性を重視しながらも、通訳倫理を守った臨機応変な対応を求められるため、医療通訳ボランティアの皆様には、通訳技能の維持・向上を目的にスキルアップ研修を受講いただいています。昨年の夏に続き第2弾として、12月16日（土）と17（日）に模擬通訳をメインとしたスキルアップ研修を、福山市と広島市で開催しました。言語講師から直接指導を受けられる模擬通訳は真剣そのもので、受講者は意欲的に取り組んでいました。

また、医療知識を学ぶことを目的としたスキルアップ研修を、1月20日（土）に、おだ内科クリニックにご勤務の医師、高田昇氏より「救急医療・災害医療」について講義いただきました。当日は、医療通訳講師の岩本弥生氏もお招きし、受講者との意見交換会を行うなど、お二人の講師から豊富なご経験に基づいた貴重なお話を聞くことができました。会場とオンラインのハイブリッド形式で実施した令和5年度最後の医療通訳ボランティア研修は、大変有意義な学びの場となりました。

令和6年度の研修については、開催が決まり次第、ひろしま国際センターのホームページでご案内します。



お二人の講師に登壇いただきました（1月20日 ハイブリッド開催）

交流部



Report 2 ボランティア通訳ガイド講習会の開催

2月17日（土）、講師に一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会会長の畝崎雅子氏をお迎えし、ボランティア通訳ガイド講習会を開催しました。今年度はガイド地を竹原市とし、町並み保存地区やお酒を取り上げました。竹原と言えば、日本のウイスキーの父と呼ばれる竹鶴政孝の生家があることは有名ですが、明治40年（1907年）に開催された第1回全国清酒品評会で日本一を勝ち取ったのも竹原のお酒、「龍勢」（藤井酒造）だったのはご存知でしょうか。お酒の話は外国人観光客からも喜ばれるそうで、通訳ガイドとして知識を持っておくと役立つと講師からお話がありました。

講習会後半では、グループハンドリングで重要な点は何かについて、グループディスカッションを行いました。歩くスピードや、トイレの確認、最近は動画配信をしながら歩いている観光客もいてハンドリングが難しい、という意見も出ました。

新型コロナウイルスが落ち着き、広島へも再び多くの外国人観光客が訪れるようになりました。同時に当センターへの通訳ボランティア派遣依頼も一気に増え、令和5年度の派遣実績は2月末時点で171名に達し、このボランティア制度が発足してから過去最高を記録する勢いです。広島県のインバウンドは、こうしたボランティアの皆様によって支えられているということ、改めて実感しました。



講習会の様子

Report 3 外国ルーツの子どもを考えるオンライン講座を開催しました

12月16日（土）、第3回国際理解講座「外国をルーツに持つ子どもたちが抱える問題ってなに？」をオンラインで開催しました。

講師に、桃山学院教育大学人間教育学部准教授 オチャンテ 村井 ロサ メルセデス氏と、こどものひろばヤッチャル副代表 奥村玲子氏をお迎えしました。中高生や大学生を中心に、広島県内外合わせて約40人の方が参加しました。

講師の実体験や、東広島市における支援の現場の実例を交えながら、外国につながる子どもの問題や私たちに出来ることを考えるきっかけになりました。

日本に住む、親が外国籍の子どもたちは望んで日本に来た人は少ないこと、小学校など学年途中で来日した子どもは、母国語での理解力が形成される前に来日したことで、母国語も日本語も中途半端になってしまうこと等が問題点として挙げられました。

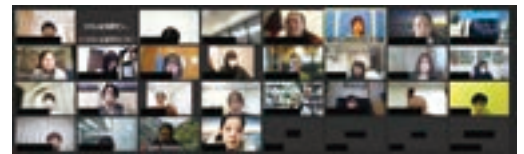
参加者の中には、学校やボランティア活動などで日頃から外国につながる子どもと接点のある方も多く、「自分が日頃どう接していけば良いかを考える貴重な機会になった。」「話を聞く、寄り添う、という姿勢を大切にしたい。」等の感想が寄せられました。



桃山学院教育大学 オチャンテ氏



こどものひろばヤッチャル 奥村氏



受講の様子

*講演の様子はYouTubeにて配信中です▶



Report 4 グローバルキャリアセミナー(第3回)を開催しました

グローバルキャリアセミナーとは、広島県内の学生を対象に（一般の方も参加可）、国際関係の仕事に携わる方を講師に迎え、現在の仕事内容や国際関係の仕事に就くための秘訣を語っていただくセミナーです。

1月28日（日）にオンラインで開催した第3回は、一般社団法人海外コンサルタンツ協会の河野敬子氏と株式会社かいはつマネジメント・コンサルティングの松木寛子氏にご講演いただきました。これまでのキャリアパスや現在どのような仕事をしているのか等を詳しく話していただいた他、講師から参加者に具体的なアドバイスや、寄せられた質問にも答えていただきました。

講師の皆様、ありがとうございました。

*講演の様子はYouTubeにて配信中です▶



(一社) 海外コンサルタンツ協会 河野氏



(株) かいはつマネジメント・コンサルティング 松木氏

交流部

Report 5 「餃子づくり交流会」で中国の文化に触れる

2月3日（土）に、中国の旧暦の正月「春節」で定番の食べ物である餃子と一緒に作って食べながら異文化交流する「春節を祝う餃子づくり交流会」を開催しました。

東区温品「中華料理 温品飯店」で働く志村万梨子氏、NPO法人虹橋の会のメンバーをお招きして、中国式の水餃子を作りました。餃子の皮に具材を包むコツを丁寧に教えてもらいながら、賑やかな雰囲気調理・実食しました。先生が作る家庭的な麻婆豆腐・トマトと卵の炒め物も美味しくいただきました。「水餃子はもちもちした食感で美味しい」「参加者とお話ししながら中国の文化を知ることができた」と好評でした。



中華料理を堪能

日本の餃子との食感や作り方の違いを体験できる楽しい交流会となりました。今後も、いろいろな国の文化を伝えるためのイベントを企画していきます！



餃子の作り方のレクチャー



餃子を茹でる様子

交流部

Report 6 「雪生活体験2024」で高校生と交流イベント

2月6日（火）に、北広島町にある広島県立加計高等学校芸北分校を訪れ、雪生活体験イベントを開催しました。広島県内在住の外国人18名（10か国・地域）が参加しました。

午前は交流会を行い、神楽部の生徒さんによる神楽を鑑賞したり、衣装の試着体験をしました。また、参加者による外国芸能の披露では、インドネシアやベトナムの歌が披露され、最後はカンボジアのダンスを全員で踊り、大変盛り上がりました。



雪だるま作り



書道体験



神楽の衣装試着

午後は雪遊びと折り紙など、日本の遊びを体験しました。雪が初めてという参加者もあり、かまくらの中で写真を撮ったり、ソリに何度も挑戦したりとそれぞれ雪体験を楽しみました。日本の遊び体験は、生徒さんに教えてもらいながら折り紙やけん玉に挑戦したり、習字で好きな言葉を書くなど、生徒さんとの交流を満喫しました。

留学生活躍支援センター

Report 7 「留学生による広島留学動画コンテスト」入賞作品が決定しました

1月26日（金）に、「留学生による広島留学動画コンテスト」の表彰式を開催し、入賞者への表彰を行いました。このコンテストは、「広島に留学したくなる動画」をテーマに、留学生が大学の魅力や住んでいる地域の魅力などを題材に、動画で広島留学の魅力を紹介するものです。

6年目となる今回は、20作品の応募がありました。表彰式は会場とオンラインのハイブリット形式で開催し、入賞した7作品の表彰と上映が行われ、受賞者は受賞の喜びや制作意図を語り、審査委員から講評をいただきました。

応募作品は「広島県留學生活躍支援センター」のYouTubeチャンネルで視聴できますので、ぜひご覧ください。



最優秀賞を受賞したレザさん（右） 受賞者と審査委員



YouTubeにて [2023広島留学動画コンテスト](#) と検索

*入賞作品はこちら



Report 8 外国人留学生と企業の気軽な就職交流会

12月15日（金）に、「外国人留学生と企業の気軽な就職交流会」を開催しました。交流会には25社の企業が出展し、35名の留学生が参加しました。

第一部の留学生向けセミナーでは、3名の元外国人留学生から日本で就職活動をする上で大切なことについて詳しく講演していただきました。その後、企業が1社ずつ2分間の企業PRを行いました。第二部の交流会では、各企業のテーブルにお菓子と飲み物を置き、企業の担当者と留学生が気軽に話をする事が出来る場を設けました。留学生の皆さんには、この交流会を通して、より多くの広島企業を知るきっかけになれば嬉しいです！

ご参加くださった企業の皆様、ありがとうございました。



元外国人留学生による講演



企業担当者の話を聞いている留学生たち



気軽にいろいろ質問

Report 9 “ひろしま”で働こう。就職活動がスタート

3月8日（金）に広島市留学生会館で、外国人留学生に特化した合同企業説明会を開催しました。外国人留学生の採用に積極的な企業29社が出展し、外国人留学生は51名が参加しました。

合同企業説明会の開催前には、一般社団法人グローバル人財ネットワークの尾本勝昭氏から企業向けに「広島県の外国人留学生の採用と定着」について、キャリアプランニングの張艶利氏から、留学生向けに「就職活動における注意事項」についてのセミナーを開催しました。

そして、合同企業説明会では、積極的に企業ブースを回り、熱心に会社概要や採用情報の説明等を聞く外国人留学生の姿が印象的でした。会場には外国人留学生や企業の方からの相談を受けられるように、キャリアコンサルタント、ハローワーク、広島出入国在留管理局の専門相談ブースを設置し、具体的なアドバイスを受けていました。

留学生の皆さん、就職活動が上手くいくことを応援しています！



留学生向けセミナーの様子



合同企業説明会

その1 タッチ・ザ・ワールド～五感で知る世界のこと～【JICA中国からの受託事業】

2月17日（土）、ひろしま国際プラザで「タッチ・ザ・ワールド～五感で知る世界のこと～」を開催しました。このイベントは小学生を対象とし、五感を使った様々な活動を通して世界の文化や慣習について新しく発見できる体感型イベントです。9つのスパイスを嗅ぎ、その名前をあてる「スパイスチャレンジ」や、JICAと名古屋大学が共同で作成した「モンゴル防災カルタ」を体験するコーナーなど、参加者は五感をフル活用して楽しみました。

中でも「手食体験」では、パキスタン出身の研修員が作ったチキンピラフを手で食べる体験をしました。参加者から「難しかった。」



キリバスの飾りをつけた参加者と研修員

「指三本で口に入れることに驚いた。」などの感想が寄せられ、舌や手で新しい文化に触れた様子が分かります。

また、「研修員と交流」エリアでは、鮮やかな民族衣装をまとった研修員たちが、写真やオブジェを使って自身の文化を紹



会場は多くの人で賑わいました

介しました。遊びを体験したり、アクセサリを身につけたり、初めて出会う国や地域の文化を知ることができました。延べ240名以上の方が参加してくださいました。たくさんのご来場ありがとうございました！

その2 さくらサイエンスプログラム【科学技術振興機構（JST）支援事業】

12月3日（日）から9日（土）の7日間、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の支援の下、広島県立安芸府中高校と提携し、インドネシアとフィリピンから高校生8名と引率者2名の計10名を招へいし、さくらサイエンスプログラムを実施しました。地球環境問題に対処するための科学知識と国際感覚を有する人材の育成を目的とし、広島大学の研究施設等（総合博物館、宇宙科学センター、水産実験所、宮島自然植物実験所）や中央エコパーク、広島県農業技術センターなどを訪問しました。両国の高校と姉妹校提携している安芸府中高校とは、学校での歓迎行事や授業体験、平和記念資料館・公園訪問、宮島散歩を通じて同世代交流を行いました。参加者からは、「以前から関心はあったが、プログラムを通して将来、



広島県農業技術センターにてみかんの収穫体験

自国の農業分野に貢献したい気持ちが高まった。」との声も聞かれました。

本プログラムは、日本の科学技術の体験のみならず、3か国の今後の交流継続にも繋げることができるものだと思います。参加者にとって有意義なものになっていれば幸いです。



修了証書授与式

留学生ボランティア 派遣受入れ団体を募集しています

広島県内の外国人留学生や日本人学生の、地域との交流や国際交流・国際協力事業等への参画を促進するため、また地域の多文化共生を支援するため、県内の留学生を派遣します。

派遣団体

市町・学校・自治会や学生団体、国際交流団体など
※個人からの依頼は対象としていません。

過去の事例

- ・ 県内の高校に外国人留学生が訪問し文化交流
- ・ 地域のお祭りに参加
- ・ 地域の語学講座など

派遣の依頼方法

下記ウェブサイトより詳細をご確認の上、「派遣依頼書（様式第2号）」をダウンロードしてメールかファックス、郵送にてご提出ください。

提出先

メール：office@int-students-hiroshima.jp
FAX：082-243-2001
郵送：〒730-0037 広島市中区中町8-18
広島クリスタルプラザ6階
広島県留生活躍支援センター 宛
(ひろしま国際センター内)

詳細・申込はこちら

<https://bit.ly/3LGAfRk>



県内文化施設等優待カード(HiCISメンバーズカード) 申込受付中

We are accepting applications for discounted HiCIS member cards.

ひろしま国際センターでは、日本や広島文化・芸術への理解を深めてもらうため県内の文化施設等の入場料・拝観料が無料、もしくは割引される優待カードを発行しています。

The Hiroshima International Center issues HiCIS members cards which give free or discounted entry to cultural facilities in Hiroshima. This card is to help deepen your understanding of Japanese and Hiroshima culture and art.



■カード特典 Membership benefits

- ・ 広島県内の文化施設（美術館・博物館・水族館・神社・資料館）の入場料が、無料もしくは割引料金で利用できます。
- ・ Enter cultural facilities in Hiroshima (art galleries, museums, aquariums or shrines) for free or at a discount.
- ・ 広島県留生活躍支援センターのイベント情報が、メールマガジンで配信されます。
- ・ Receive an email newsletter with info on HiCIS events.

■申込対象者 Eligible applicants

- ・ 広島県の大学や高等専門学校、日本語学校等に通う留学生（「留学」ビザの方）
- ・ International students from universities, technical colleges or Japanese language schools etc. in Hiroshima (Those who have "Student" Visa)

申込はこちらから
For the application form



<https://bit.ly/3SBsCQy>

詳しい情報ははこちら For more info



<https://hiroshima-ic.or.jp/support/facilities/>

Hello Hiroshima

Vol.124 April 2024



Hello Hiroshima,
Edward here!

Edward

(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

I hope everyone had a great new year! I hope all your wishes come true! Did everyone make a new year's resolution? My resolution is to further improve my translation and interpretation skills.

It looks like winter is finally over. Although it was quite cold this year, as my heating bill can attest to, we did not get much snow this year. Being from California, I rarely get the chance to see snow, so seeing snowfall in the city for the first time was quite exciting for me. In fact, I was lucky enough to interpret for Hiroshima University international students during a Snow Experience event in Kitahiroshima town. Not only did we get to play in the snow, but we also enjoyed several Japanese cultural events, including Kendama, origami, calligraphy, and an impressive performance from Kake High School, Geihoku Branch School of Yamata no Orochi, which is a Japanese traditional folktale about a deity named Susanoo defeating a monster named Orochi in order to marry a princess.

Apart from Japanese culture, the Snow Experience event also showed the richness of some of the Hiroshima University international students' native cultures, including Vietnam, Indonesia, and Cambodia, in the form of song and dance. Everyone performed wonderfully. Interpreting events are one

of my favorite parts of this job, as not only do I get to practice my interpretation skills, but I also get to enjoy several interesting cultural experiences.

On a different note, as you can see in the photo, I went to Miyajima! I went in the end of February because the sun was finally out after such a long time. The weather was perfect, not too hot and not too cold. Also, Itsukushima Shrine was magnificent, especially the red torii contrasting against the blue sky. I also tried some of their famous oysters, and highly recommend them! It was a wonderful experience, and it is easy to see why Miyajima is such a popular tourist destination.

I am glad the weather is warming up again and enjoying the cherry blossom season. It is my first time seeing cherry blossoms in Japan, and I am very much enjoying it. What I admire about Japan is how different the seasons seem, each with something special to enjoy.



Upcoming

Event News



EGG草の根国際交流会

インドネシア、ベトナム、フィリピン、ブラジル、日本など、県北在住の人の出身国をテーマに家庭料理を一緒に作って食べて交流をしています。どなたでも気軽にお越しください。

日 毎月第2土曜日 時 13:00~16:30

場 三次市十日市コミュニティセンター(十日市きんさいセンター) 三次市十日市南1-2-18

定 特になし、どなたでも 費 無料 問 EGG草の根国際交流会 担当者: 神岡百合美

TEL: 090-4805-8878 mail: yuririn_egg@yahoo.co.jp

JICA海外協力隊

広島から世界へ！いつか世界を変える力になる！



広島から世界へ！2024年2月末現在、広島県から派遣のJICA海外協力隊21名が世界で活躍しています！



JICA海外協力隊 2024年度春募集まもなく開始

2024年5月17日(金)～2024年7月1日(月)

広島市、福山市にて説明会開催予定!

JICA海外協力隊は、「自分の技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という意志を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象です。今回募集対象となる長期派遣は2年間の任期となります。衣食住を現地の人とともにしながら互いに理解を深め、途上国の課題解決に取り組みます。派遣前の訓練があり、現地での安全対策をしっかりと行っています。JICA海外協力隊というと、特別な経験や豊富な知識が必須と思われるがちですが、新卒で参加される方や、数年の社会人経験を経て派遣される方も多くいます。

今の自分を変えてみたい。せっかくならドキドキ

キすることをしてみたい。そう思ったことはありませんか? JICA海外協力隊なら、好奇心を刺激してくれる経験が必ず見つかるはず。人生なんてきっかけひとつ!少しでも興味を持たれた方は、ぜひ広島市、福山市での説明会やオンライン説明会を覗いてみてください!



広島市、福山市での説明会情報はこちら!

オンライン説明会の情報はこちら!



JICAのことや世界のこと、なんでも聞いてください!

広島県JICAデスク
新庄 芳菜恵



JICA海外協力隊の詳細や相談はもちろん、JICAの活動や国際協力全般について、いつでもお気軽にご連絡ください!!

Tel→082-242-8879

E-mail→jica_hiroshima_desk@jica.go.jp

広島県JICAデスク紹介ページはこちら! →



日本と相手国、お互いがwin-winな関係作りを

「持続可能な未来を創るための国際協力と地方創生」をテーマに報告書を作成し、2月17日にトークイベントでお披露目しました。登壇者は、ブータンで美術教育に取り組む浜田市世界子ども美術館(島根)の高野氏、ベトナムで介護予防に取り組む(社福)やすらぎ福祉会(岡山)の平井氏、ネパールやスリランカで地域振興に取り組むNPOピースウィングスジャパン(広島)の東村氏です。

高野氏「日本で、ブータンの先生方と学生たちが英語を使って交流した。学生は、相手を知りたいと事前学習をして臨んだ。この交流に刺激を受け、語学留学した生徒がいた。こういう機会を継続的に持つことが大切」と述べました。

平井氏「日本式を押し付けるのではなく、彼らに合ったやり方を一緒に考えることが大切」、「私の施設でも外国籍の方が働いてくれており、『ありがとう』という思い。言語や文化を理解したいという気持ちが大切」多文化共生につながる想いを語りました。

東村氏「日本ではどうしているのかと聞かれることがある。日本の地方の経験、技術を知ることは重要」、「地域にいる技能実習生と言葉を教え合うなど交流することで相互理解が深まる」海外と日本を比較する視点、地域でできることについてお話ししました。



報告書データのダウンロードはこちらのイベント記事から



「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

アハマド・タミン・サミン

HIC article: Ahmad Tamim Samimさん(アフガニスタン)

“All our sweetest hours fly fast” very bad; but the pleasant is “the sweetest memories last forever”!

As I look back on my almost two and a half year academic journey in dreamy Japan, it becomes clear how quickly my wonderful moments passed. But I can say with full confidence that the sweetest memories of this era will stay with me forever.

Yes, the journey of an ordinary citizen in one of the poorest and most war-torn countries in the world (Afghanistan), which begins with increasing motivation and strong will on late October, 2021 to the destination; one of the most advanced countries in the world (Japan).

Following a six month research program, I began my master's degree studies with the PEACE scholarship from JICA, at Hiroshima University's Advanced Science and Engineering Program.

Furthermore, in this journey I attended internships in Suntech Company, Kagawa and Takeuchi Construction Company, Tokyo. I have also one publication as coauthor, one of my scientific paper which I am the author is under review and my third paper is under writing process. One of my research papers has been already presented in Singapore AOGS2023 and my two other abstracts are accepted for 1. NERPS Conference in Hiroshima March 9, 2024. And 2. AOGS2024 July in Korea.

During this period, in addition to my main achievement in my academic field, I was able to gain many experiences in other dimensions of life and have happy moments in a completely different environment. Traveling to many prefectures such as Tokyo, Osaka, Kobe, Kagawa, Fukuoka, and visiting many interesting places like Universal Studios Japan, New Reoma World, Miyajima, etc. More importantly, it was very pleasant and great for me to get to know the rich culture and ethics of the kind people of Japan.

Moreover, being a member of Global Relation Program (GRP) makes life more beautiful in terms of comfort, mental peace and cross-border human communications in Japan. From providing accommodation in one of the most equipped residential areas like as Hiroshima International Plaza (HIP) to organizing several intercultural events that provide opportunities for learning and enjoyment are the advantages of GRP membership. I sincerely appreciate and thank for all the attention and love that GRP have given me. I will absolutely miss the Volleyball yard, table tennis, Library, Music room, Gyms and the very nice restaurant in HIP.

Once again, seizing the opportunity, I owe all the achievements of this study journey to the honorable people of Japan, JICA, Hiroshima University and GRP; that I sincerely thank all those involved who have cooperated with me.

My always best wishes for Japan!



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、10ヶ国18名の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊875円 管理費3,500円/月
月額28,000円~30,625円(水道光熱費込み)
★毎年、春と秋に入居者を募集しています。募集の際には「ひろしま国際プラザ」のHPIに掲載します。

外国人留学生奨学金への寄付を募集しています

当センターでは、企業や県民の皆様からのご寄附を受けて、県内の私費外国人留学生に奨学金を支給しています。(令和5年度の実績:43名、渡日等留学生支援に係る奨学金も含めて全体で61名)

当センターの奨学金制度は、外国人留学生への勉学や生活の支援はもちろんのこと、留学生と企業や団体、そして県民の皆様との交流によって、「留学生と広島とをつなぐ」という大きな目的があります。母国の家族からの支援も望めない留学生が数多くおります。このような経済的に苦しい状況下にある外国人留学生への温かいご支援をお待ちしております。

企業・団体の協力による奨学金 1口 370,000円

県民の協力による奨学金 1口 5,000円

※口数の制限はありません。
留学生には月額30,000円を1年間支給致します。



令和5年度奨学金決定通知書授与式

交流部&留学生生活支援センター

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F

TEL. (082) 541-3777 FAX. (082) 243-2001

E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月~金 10:00~19:00 土 9:30~18:00

日・祝日および年末年始(12/28~1/4)はお休みです。



研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046

東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

TEL. (082) 421-5900 FAX. (082) 421-5751

E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間 [情報センター・図書室]

月~金 10:30~12:30, 13:30~19:00

土・祝日 10:30~19:00

※日曜および年末年始(12/29~1/3)はお休みです。

※その他、臨時休業の場合は、HPで随時お知らせします。
※NGO交流室は休室中です。

